

導入黄麻及び洋麻の採種における風害軽減について

上原 勉*・鎌田 友安*

UEHARA, T., and KAMADA, T. Controls of Typhoon Damages in Seed-production of Jute and Kenaf.

導入黄麻及び洋麻は、我国では成育期間長く、開花期の前後が丁度台風期に遭遇し、一度台風に見舞われれば致命的な被害を蒙り採種不能におちいるので、これが採種については極めて不安定であつた。昭和30年台風22号は黄麻の開花終期、洋麻の開花初期に襲来したので、台風回避の方法を試み結果を得たので概要を報告し参考に供したい。

試験方法 供試品種、黄麻、白胭脂、洋麻、マドラ

ス青、ナシアード紅。試験区を倒伏区、折損区、無培土区、標準区の4区とした。倒伏、折損処理は台風が中心が接近し風力が加わり和風より疾風に変つたと思われる時期に風の方向に処理した。

試験成績 落花、落葉の被害は黄麻及び洋麻とも標準区、無培土区が著しく大であり、特に洋麻の被害は甚大であつたが、折損、倒伏の両区は被害が極めて少く風害回避対策としての効果が認められた。10月上

第1表 台風襲来前に開花結実せる黄麻及び洋麻の採種量(坪当)

種類	区別	蒴 数			子実重 (gm)			1000粒重 (gm)
		完全	未熟	計	完全	未熟	計	
黄麻	標準	38.0	53.0	91.0	1.0	0.9	1.9	—
	無培土	682.5	578.0	1260.5	18.9	28.3	47.2	2.0
	倒伏	1766.0	1389.0	3155.0	70.2	64.4	134.6	3.2
	折損	1680.0	1039.0	2719.0	58.5	21.1	79.6	3.2
洋麻 (ナシアード紅)	標準	0	0	0	0	0	0	—
	無培土	0	0	0	0	0	0	—
	倒伏	1053.0	324.0	1377.0	443.7	63.9	507.6	26.4
	折損	684.0	171.0	855.0	198.0	23.4	221.4	26.0
洋麻 (マドラス青)	標準	0	0	0	0	0	0	—
	無培土	0	0	0	0	0	0	—
	倒伏	969.0	261.0	1230.0	311.4	25.2	336.6	25.8
	折損	945.0	243.0	1188.0	206.1	29.7	235.8	25.6

第2表 台風通過後開花結実せる洋麻の採種量(坪当)

品種	区別	蒴 数			子実重 (gm)		
		完全	未熟	計	完全	未熟	計
ナシアード紅	標準	18.0	612.0	630.0	0.9	0.45	1.35
	無培土	45.0	405.0	450.0	1.8	9.9	11.70
	倒伏	324.0	297.0	621.0	54.0	41.4	95.4
	折損	216.0	171.0	387.0	23.5	22.5	45.9
マドラス青	標準	63.0	80.1	143.1	0.9	5.4	6.3
	無培土	153.0	882.0	1035.0	6.3	21.6	27.9
	倒伏	459.0	384.0	843.0	45.0	63.0	108.0
	折損	162.0	208.0	370.0	31.5	10.8	42.3

* 九州農業試験場

旬黄麻の倒伏区、折損区と、洋麻の全区は再び開花し始めたが、黄麻は両区とも不稔におわり、洋麻のみ結果したが稔実が著しく悪かつた。採種量は第1表、第2表に示すか如く黄麻、洋麻とも倒伏区が最も多く、折損区これに次ぎ、無培土区、標準区の順となり、台風回避の方法としては、倒伏処理を行うことが最も効果的なることを認めた。

考察並びに結言 以上今年黄麻が開花終期、洋麻が開花初期という時期に、強度の台風に遭遇したにもかかわらず、倒伏区における採種量は黄麻及び洋麻とも平年の約50%で、従来極めて不安定であつた採種栽培の安定性を高めることが出来た。導入黄麻及び洋麻の中には、台風に対して比較的抵抗性の強い品種も中にはあるが、然しながら台風襲来の時期がおそくなると当然開花期もおくれて、結実が著しく悪くなるので、今後は耐風性の強い品種と雖も台風に対しては倒伏処理を行うことが望ましいことと思われる。

結局、土壌の比較的湿潤な時における人工倒伏は、樹勢を大して阻害しないので、開花期ばかりでなく、7~8月頃の伸長期における台風に対しても効果のあるように思惟せられる。